

平成 25 年度

# 「学生によるオレンジリボン運動」 名古屋市立大学 実施報告書



実施主体 看護学研究科助産師国家試験受験資格取得コース 1 年有志

実施内容 平成 25 年 11 月 2 日、3 日の大学祭にて啓発活動

## ① 事前に取り組んだ内容

オレンジリボン運動の起源や具体的な活動について事前に学習を行い、助産師として虐待予防にかかわる意義について認識を共有。活動の概要・虐待の種類や児童相談センターなどの情報を掲載した掲示物を作成した。また、オレンジリボン運動公式 HP にてリボン作成方法を確認し、オレンジリボン 400 個を配布用に作成し当日に備えた。

学校祭のパンフレットに広告を掲載し、告知を行った。

## ② 実施期間に取り組んだ具体的内容

来場者に「オレンジリボン運動を知っていましたか？」の質問ボードに YES/NO の 2 択でシールを貼ってもらい、オレンジリボン運動の認知度を調査。その後、オレンジリボン活動概要の説明、リボンの配布をした。2 日間で協力をしていただいた方の合計人数は 462 人 (YES78 人(17%) NO384 人(83%))で、リボンは 502 人の方に配布することができた。

## ③ 「オレンジリボン運動」を終えての感想

来場者の大部分は、今回のイベントが初めてのオレンジリボン運動との接点となった。認知していなかった来場者の中にはスタッフに積極的に話しかけるケースもみられ、オレンジリボン運動への関心は高さを感じるとともに、きっかけづくりの大切さを感じた。若者世代にアプローチできた他、育児を終えた世代や現在育児中の親世代、また当事者である子どもにも周知できたのでよかった。

来場者から、イベント主催者の立場に関する質問があり、助産師の児童虐待予防における役割の認知不足もみられた。今後、助産師による児童虐待予防活動拡大により、周産期に児童虐待死が多いという実情において、母子の健康を守る専門職者としての助産師の役割を周知していくことが課題であると感じた。

